

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者
国立大学法人 群馬大学

(2) 大学名
群馬大学

(3) 大学の位置
〒376-8515
群馬県桐生市天神町1-5-1
(〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2)

(注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(タカタ クニアキ) 高田 邦昭 (平成21年4月)		
学部長	(シノヅカ カズオ) 篠塚 和夫 (平成25年4月)		
学科長 (化学・生物 化学科)	(ウエノ ケイジ) 上野 圭司 (平成25年4月)		
学科長 (機械知能システム 理工学科)	(アマガイ ケンジ) 天谷 賢児 (平成25年4月)		
学科長 (環境創生理工 学科)	(ウガイ ケイゾウ) 鵜飼 恵三 (平成25年4月)		
学科長 (電子情報理工 学科)	(オオタ ナオヤ) 太田 直哉 (平成25年4月)		
学科長 (総合理工学科)	(セキ ヨウイチ) 関 庸一 (平成25年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 化学・生物化学科 学士(理工学)	4年	160人	— 年次人	640人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	160 (-) [-]		() () []		() () []		() () []		1.03倍	
志願者数	496 (-) [2]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	417 (-) [2]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	179 (-) [1]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	166 (-) [1]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.03									

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 166	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[] 166	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 機械知能システム 理工学科 学士(理工学)	4年	110人	- 年次人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110 (-) [-]										1.06倍	
志願者数	256 (-) [7]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	214 (-) [6]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	123 (-) [5]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	117 (-) [4]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06											

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] 117	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	[]	[]	
計	[4] 117	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 環境創生理工学科 学士(理工学)	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [-]										1.04倍	
志願者数	237 (-) (-) [4] [-]											
受験者数	195 (-) (-) [4] [-]											
合格者数	100 (-) (-) [1] [-]											
B 入学者数	94 (-) (-) [1] [-]											
入学定員超過率 B/A	1.04											

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 94	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[1] 94	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 電子情報理工学科 学士(理工学)	4年	120人	- 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	120	()	()	()	()	()	()	()	1.09倍	
	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	367	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[5]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	308	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[5]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	138	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	131	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	1.09											

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 131	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[1] 131	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 総合理工学科 学士(理工学)	4年	30人	- 年次人	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 (-) [-]								1.06倍	
志願者数	212 (-) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	183 (-) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	37 (-) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	32 (-) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] 32	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[0] 32	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	840 人	0 人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		%
合 計	840 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 化学・生物化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	教養基盤科目	学びのリテラシー(1)	1前		2		5					兼 1	担当予定教員の都合により1名減員(25)	
		学びのリテラシー(2)	1後		2		4	2				兼 2		
		英語	1前・後		4							兼 5		
		スポーツ・健康	1前・後		3							兼 5		
		情報	1前		2							兼 3		
	就業力	1前		2		1					兼 4			
	教養育成科目	人文科学科目群	1・2・3・4前・後		2									兼 10
		社会科学科目群	1・2・3・4前・後		2									兼 9
		自然科学科目群	1・2・3・4前・後		2		2	2						兼 9
		健康科学科目群	1・2・3・4前・後		2									兼 10
		外国語教養科目群	1・2・3・4前・後		2									兼 7
		総合科目群	1・2・3・4前・後		2		1							兼 2
学部別科目	育基盤科目	学びのリテラシー(3)	2・3・4前・後	2			15	17		13		兼 6	助教から准教授に1名昇任(25)変更書25年6月提出予定	
	入門科目	数学入門	1・2・3・4前・後			2						兼 1		
		物理学入門	1・2・3・4前・後			2						兼 1		
理学系基盤教育科目	目系概論	物理学概論	1前	2			2					兼 1		
		化学概論	1前	2			3							
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	1前	2								兼 3		
		微分積分学Ⅱ	1後	2								兼 3		
		線形代数学Ⅰ	1前	2								兼 2		
		線形代数学Ⅱ	1後	2								兼 3		
	力学	1後	2			2					兼 4			
	目系実験	基礎物理実験	1前・後	1			1					兼 6		
基礎化学実験		2前	1				2				兼 3			
数学系列科目群	基礎微分方程式	3・4後		2							兼 1			
	常微分方程式	2後		2							兼 1			
	ベクトル解析	2前		2							兼 1			
	複素関数論	3・4後		2							兼 1			
	偏微分方程式	3・4前		2							兼 1			
	確率統計Ⅰ	3・4後		2							兼 1			
	確率統計Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	確率統計演習	3・4通		1							兼 3			
	代数学	3・4後		2							兼 1			
	離散数学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	離散数学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	離散数学演習	3・4通		1							兼 3			
	抽象数学	3・4前		2							兼 1			
信号数理解析	3・4前		2							兼 1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
理学系展開科目	物理系系列科目群	振動波動	2前	2								兼	1		
		振動波動演習	3・4前	1									兼	1	
		電磁気学Ⅰ	2後	2									兼	1	
		電磁気学Ⅱ	3・4後	2									兼	2	
		電磁気学演習	3・4前	1									兼	1	
		熱力学Ⅰ	3・4前	2									兼	1	
		熱力学Ⅱ	3・4後	2									兼	1	
		流体力学Ⅰ	3・4前	2									兼	1	
		流体力学Ⅱ	3・4後	2									兼	1	
		移動現象論Ⅰ	3・4前	2									兼	2	
		物性物理学	3・4前	2									兼	1	
		基礎量子論	3後	2									兼	1	
		量子力学Ⅰ	3・4後	2									兼	1	
	量子力学Ⅱ	3・4前	2									兼	1		
	統計力学	3後	2									兼	1		
	化学系系列科目群	物理化学Ⅰ	2前		2		1	1					兼	1	担当教員の変更(25) 変更書25年6月提出予定
		物理化学Ⅱ	2後		2		2	1							
		無機化学Ⅰ	2前		2			1							
		無機化学Ⅱ	2後		2		1								
		有機化学Ⅰ	2前		2		3								
		有機化学Ⅱ	2後		2		1	1					兼	1	
		分析化学Ⅰ	2前		2		1								
		分析化学Ⅱ	3後		2								兼	1	
	生物系系列科目群	基礎生物学	1前		2		1								
		微生物学	2前		2		2								
		生化学	2前		2		3								
		細胞生物学	2後		2		1	1							
環境微生物学		3・4前		2								兼	1		
学部共通科目	国際コミュニケーション実習Ⅰ	1・2・3・4通		1								兼	1		
	国際コミュニケーション実習Ⅱ	1・2・3・4通		2								兼	1		
	インターンシップⅠ	2通		1								兼	1		
	インターンシップⅡ	3通		1		1									
	知的財産専門講座	3・4後		2								兼	1		
	経営工学	2・3・4前		2								兼	3		
学科専門科目	分野統合科目	化学・生物化学原論Ⅰ	1前	2			3						兼	3	
		化学・生物化学原論Ⅱ	1前	2			8	4					兼	2	
		化学・生物化学基礎Ⅰ	1後	2			1	1					兼	1	
		化学・生物化学基礎Ⅱ	1後	2			1	1							
		化学・生物化学基礎Ⅲ	1後	2			1	2							
		化学・生物化学基礎Ⅳ	1後	2			3								
		化学・生物化学演習Ⅰ	2後	1						4					
		化学・生物化学演習Ⅱ	3前	1				1					兼	2	
	化学・生物化学演習Ⅲ	3後	1				1			3					
	化学・生物化学演習Ⅳ	3後	1				1			3				助教から准教授に1名昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
	専門A	化学・生物化学実験Ⅰ	2前	2				2					兼	3	
		化学・生物化学実験Ⅱ	2後	3				15			13				助教から准教授に1名昇任(25) 変更書25年6月提出予定
		化学・生物化学実験Ⅲ	3前	3				15			13				助教から准教授に1名昇任(25) 変更書25年6月提出予定
		化学・生物化学実験Ⅳ	3後	3				15			13				助教から准教授に1名昇任(25) 変更書25年6月提出予定
		専門英語Ⅰ	2前	2			2	1					兼	1	
		専門英語演習	2後	1			1				3				
専門英語Ⅱ		3前	2			2	1					兼	1		
卒業研究		4通	9			19	19					兼	6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門B	情報化学	2前		2		2	2					
	分子生物学	2後		2			2					
	安全工学	2後		2		2	4					
	構造化学	3前		2		2	1					
	固体化学	3前		2			1				兼	1
	有機反応化学	3前		2			1					
	生理学	3前		2			1					
	構造生物学	3前		2		3						
	品質管理	3前		2		1						
	電子工学	3前		2							兼	1
	化学工学	3前		2							兼	2
	分子分光学	3前		2		1						
	電気化学	3後		2							兼	1
	無機物性化学	3後		2							兼	1
	工業化学概論	3後		2			1					
	有機構造化学	3後		2		1						
	生物有機化学	3後		2		1	1				兼	1
	化学生物学	3後		2		2	1					
物性物理化学	3後		2			2						
生物物理学	3後		2		2							
機械工学	3後		2							兼	1	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 28	科目 83	科目 2	科目 113	科目 28 [0]	科目 83 [0]	科目 2 [0]	科目 113 [0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

<理工学部 機械知能システム理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
全学共通科目	教養基盤科目	学びのリテラシー(1)	1前		2					1		兼 4	担当教員の都合により2名変更と1名追加予定(25)変更書25年6月提出予定		
		学びのリテラシー(2)	1後		2							兼 8			
		英語	1前・後		4							兼 10			
		スポーツ・健康	1前・後		3							兼 5			
		情報	1前		2							兼 5		担当教員(准教授)を1名追加予定(25)変更書25年6月提出予定	
	就業力	1前		2		1			1		兼 4				
	教養育成科目	人文科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 10		担当教員の都合により1名減員(25)	
		社会科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 9			
		自然科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 13			担当教員の都合により1名減員(25)
		健康科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 7			
外国語教養科目群		1・2・3・4前・後		2							兼 2				
総合科目群	1・2・3・4前・後		2		2					兼 13					
学部別科目	科教基盤	学びのリテラシー(3)	2・3・4前・後	2		3	2		1		兼 2				
	入門科目	数学入門	1・2・3・4前・後			2					兼 1				
理学系基盤教育科目	系概論	物理学概論	1前	2							兼 2				
		化学概論	1後	2							兼 2				
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	1前	2								兼 2	担当教員の都合により2名変更(25)変更書25年6月提出予定		
		微分積分学Ⅱ	1後	2								兼 2			
		線形代数学Ⅰ	1前	2								兼 2			
		線形代数学Ⅱ	1後	2								兼 1			
		力学	1後	2			2								
	系実験	基礎物理実験	2前	1								兼 5			
		基礎化学実験	1前・後	1								兼 3			
	理学系展開科目	数学系系列科目群	基礎微分方程式	1後	2							兼 2	担当予定教員退職のため1名減員(25)(後任選考中)		
常微分方程式			2前	2							兼 4				
ベクトル解析			2前		2						兼 1				
複素関数論			2後		2						兼 4	担当予定教員退職のため1名減員(25)(後任選考中)			
偏微分方程式			3前		2						兼 4				
確率統計Ⅰ			2後		2						兼 1	担当予定教員退職のため1名減員(25)(後任選考中)			
確率統計Ⅱ			3・4後		2						兼 1				
確率統計演習			3・4通		1						兼 3				
代数学			3・4後		2						兼 1				
離散数学Ⅰ			3・4前		2						兼 1				
離散数学Ⅱ		3・4後		2						兼 1					
離散数学演習		3・4通		1						兼 3					
抽象数学		3・4前		2						兼 1					
信号数理解析		3前		2			1								
物理系系列科目群		振動波動	2後		2							兼 1	担当予定教員退職のため1名減員(25)(後任選考中)		
		振動波動演習	3・4前		1							兼 1			
		電磁気学Ⅰ	2前		2							兼 1			
		電磁気学Ⅱ	3・4後		2							兼 2			
		電磁気学演習	2前		1							兼 1			
		熱力学Ⅰ	2前	2		2		1							
	熱力学Ⅱ	2後		2			1								
	流体力学Ⅰ	2前	2		2						兼 1				
	流体力学Ⅱ	2後		2		1									
	移動現象論Ⅰ	3・4前		2							兼 2				
物性物理学	3・4前		2							兼 1					
基礎量子論	3後		2							兼 1					
量子力学Ⅰ	3・4後		2							兼 1					
量子力学Ⅱ	3・4前		2							兼 1					
統計力学	3・4後		2							兼 1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
化学系 科目群	物理化学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	物理化学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	無機化学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	無機化学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	有機化学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	有機化学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	分析化学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	分析化学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	高分子化学Ⅰ	3・4前		2							兼 1			
	高分子化学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
生物系 科目群	基礎生物学	3・4前		2							兼 1			
	微生物学	3・4前		2							兼 2			
	生化学	3・4前		2							兼 3			
	細胞生物学	3・4後		2							兼 2			
	環境微生物学	3・4前		2							兼 1			
学部 共通科目	国際コミュニケーション実習Ⅰ	1・2・3・4通		1							兼 1			
	国際コミュニケーション実習Ⅱ	1・2・3・4通		2							兼 1			
	インターンシップⅠ	2通		1		1								
	インターンシップⅡ	3通		1			1							
	知的財産専門講座	3・4後		2							兼 1			
経営工学	2・3・4前		2							兼 2				
学科 専門科目	分野 統合科目	サイエンスベース機械知能システム概論	1前	2			2	3		1		兼 2	担当教員(教授)退職予定のため1名変更(25) 担当教員(助教)の都合により1名変更(25) 変更書25年8月提出予定	
		機械知能システム工学基礎演習	2後	1				2				兼 2		
		サイエンスベース機械知能システム論	3後	1			1	3		2		兼 1		
	エネ ルギ ーシ ステム	熱および物質移動	2後	2				1	1					
		熱流体計測工学	3前		2			1						
		熱流体シミュレーション	3前		2				1					
		エネルギー変換と環境	3後		2				1					
		先端流体力学	3後		2								兼 1	
	マテ リア ルシ ステ ム	材料力学Ⅰ	2前	2				1					兼 1	
		機械材料Ⅰ	2前	2					1					
		機械加工学	2後	2					1					
		材料力学Ⅱ	2後		2				1		1			
		機械材料Ⅱ	3前		2						1			
		機械要素設計	3前	2					1					
		弾性力学	3前		2				1					
塑性力学		3後		2			1							
構造解析シミュレーション	3後		2								兼 1			
メカ トロ ニク ス	機構学	2前	2				1	1						
	機械力学	2前	2											
	機械振動学	2後		2				1						
	基礎計測学	2後		2				1						
	機械電子要素	2後		2				1						
	メカトロインタフェース	3前		2				1						
	動的システム解析	3前		2				1						
	応用計測学	3後		2			1							
	機械システム設計	3後		2				1						
	動力学シミュレーション	3後		2			1							
ロボットシミュレーション	3後		2				1							
ヒューマンインタフェース	3後		2				1							
イン テリ ジェ ント シス テム	コンピュータハードウェア	2前	2				1							
	プログラミング基礎演習	2前	1							2				
	機械基礎数理演習	2前	1					1				兼 1		
	デジタルシステム	2後		2										
	アルゴリズムとデータ構造	2後		2										
	制御工学Ⅰ	2後	2				1							
	制御工学Ⅱ	3前		2			1							
	人工知能	3前		2							1			
	コンピュータネットワーク	3前		2							1			
プログラミング応用	3後		2							1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実験・実習	機械製図	2前	1				1					兼 1	
	設計製図	2後	1				2						
	機械知能システム総合設計製図	3前	1				2			1		兼 1	
	CAD/CAM/CAE演習	3後		1		1				1			
	機械知能システム工作実習Ⅰ	2前	1			1				3		兼 2	担当教員を2名(准教授)追加予定(25) 変更書25年6月提出予定 担当教員を3名(助教)追加予定(25) 変更書25年8月提出予定
	機械知能システム工作実習Ⅱ	2後	1			3	1			1		兼 1	
	機械知能システム工学実験Ⅰ	3前	1			2	5			4		兼 4	担当教員(助教)を2名追加予定(25) 変更書25年8月提出予定
	機械知能システム工学実験Ⅱ	3後	1			1	6			4		兼 4	担当教員(助教)を2名追加予定(25) 変更書25年8月提出予定
基礎学	工業力学	1後	2									兼 1	担当教員の都合により1名変更(25) 変更書25年6月提出予定
英専語門	専門英語Ⅰ	2前	2			2	1					兼 1	
	専門英語Ⅱ	2後	2			2	1			1			
卒業研究	卒業研究	4通	10			8	15					兼 3	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 84	科目 2	科目 125	科目 39 [0]	科目 84 [0]	科目 2 [0]	科目 125 [0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

<理工学部 環境創生理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	教養基盤科目	学びのリテラシー(1)	1前		2		1	2	1			兼 1	講師から准教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
		学びのリテラシー(2)	1後		2							兼 8		
		英語	1前・後		4							兼 10		
		スポーツ・健康	1前・後		3							兼 5		
		情報	1前		2							兼 8		担当予定教員の都合により5名追加(25)
		就業力	1前		2		1					兼 5		
	教養育成科目	人文科学科目群	1・2・3・4前・後		2								兼 10	担当予定教員の都合により1名減員(25) 担当予定教員の都合により1名減員(25)
		社会科学科目群	1・2・3・4前・後		2								兼 9	
		自然科学科目群	1・2・3・4前・後		2								兼 13	
		健康科学科目群	1・2・3・4前・後		2								兼 7	
外国語教養科目群		1・2・3・4前・後		2								兼 2		
総合科目群	1・2・3・4前・後		2		1						兼 14			
学部別科目	基盤教育科目	学びのリテラシー(3)	2・3・4前・後	2			4	3	2	7		兼 1	講師から准教授に2名昇任(25) 助教から准教授に1名昇任(25) 担当予定教員の都合により1名(准教授)追加 変更書25年6月提出予定 担当教員の都合により2名(助教)追加(25) 変更書25年8月提出予定	
	入門科目	数学入門	1・2・3・4前・後			2						兼 1		
理学系基盤教育科目	系概論	物理学概論	1前	2								兼 2		
		化学概論	1前	2								兼 2		
	数物系科目	微分積分学Ⅰ	1前	2								兼 2		
		微分積分学Ⅱ	1後	2								兼 2		
		線形代数学Ⅰ	1前	2								兼 2		
		線形代数学Ⅱ	1後	2								兼 2		
	実験系科目	力学	1後	2						1		兼 1		
基礎物理実験		1後	1								兼 5	担当予定教員の都合により1名追加(25)		
基礎化学実験	1前	1								兼 2				
理学系展開科目	数学系列科目群	基礎微分方程式	3・4後		2							兼 1	担当予定教員退職のため後任選考中(25)	
		常微分方程式	2前		2							兼 4		
		ベクトル解析	2前		2							兼 1		
		複素関数論	2後		2							兼 1		
		偏微分方程式	3前		2							兼 1		
		確率統計Ⅰ	2後		2							兼 1		
		確率統計Ⅱ	3・4後		2							兼 1		
		確率統計演習	3・4通		1							兼 3		
		代数学	3・4後		2							兼 1		
		離散数学Ⅰ	3・4前		2							兼 1		
	離散数学Ⅱ	3・4後		2							兼 1			
	離散数学演習	3・4通		1							兼 3			
	抽象数学	3・4前		2							兼 1			
	信号数理解析	3・4前		2							兼 1			
	物理系列科目群	振動波動	2前		2							兼 1		
		振動波動演習	3・4前		1							兼 1		
		電磁気学Ⅰ	2後		2							兼 1		
		電磁気学Ⅱ	3・4後		2							兼 2		
		電磁気学演習	3・4前		1							兼 1		
		熱力学Ⅰ	3・4前		2							兼 1		
熱力学Ⅱ		3・4後		2							兼 1			
流体力学Ⅰ		3・4前		2							兼 1			
流体力学Ⅱ		3・4後		2							兼 1			
移動現象論Ⅰ		2前		2		1	1				兼 1			
物性物理学	3・4前		2							兼 1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学部 共通科目	基礎量子論 量子力学Ⅰ 量子力学Ⅱ 統計力学	3後		2								兼 1		
		3・4後		2								兼 1		
		3・4前		2								兼 1		
		3・4後		2								兼 1		
	化学 系列 科目 群	物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ	2前		2			1						
			2後		2			1						
		無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	3・4前		2								兼 1	
			3・4後		2								兼 1	
			2前		2								兼 1	
			2後		2								兼 1	
		分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 高分子化学Ⅰ 高分子化学Ⅱ	3・4前		2								兼 1	
			3・4後		2								兼 1	
	3前			2		1								
	3・4後			2								兼 1		
	生物 系列 科目 群	基礎生物学 微生物学 生化学 細胞生物学 環境微生物学	3・4前		2								兼 1	
			3・4前		2								兼 2	
			3・4前		2								兼 3	
			3・4後		2								兼 2	
			2前		2		1							
学部 共通 科目	国際コミュニケーション 実習Ⅰ 国際コミュニケーション 実習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 知的財産専門講座 経営工学	1・2・3・4 通		1								兼 1		
		1・2・3・4 通		2								兼 1		
		2通		1						1		兼 1		
		3通		1								兼 1		
		3・4後		2								兼 1		
		2・3・4前		2								兼 2		
学科 専門 科目	分野 統合 科目	環境創生理工学概論 環境材料科学 環境科学総論 環境修復科学 環境創生理工学	1前	2			4					兼 1		
			2後		2		1					兼 2		
			2前		2		3							
			3後		2		2							
			3前		2		4						兼 1	
	環境 理 工 学 の 基 礎	環境創生のための基礎化 学工学 電子応用計測 工業化学概論 環境システム工学 生物プロセス工学 環境水質工学 廃棄物管理工学 環境整備工学Ⅰ 環境整備工学Ⅱ	1後	2			3						兼 1	
			3後		2		1							
			3前		2			1						
			3前		2				1					
			3後		2		1			1				
			2後		2						1			
			3前		2		1					1		
	3前		2							1				
	物質・ エ ネ ル 科学	有機化学Ⅲ 生化学基礎 材料科学 原子・分子構造論 化学熱力学 電気化学	3後		2								兼 1	
3前				2								兼 1		
2前				2		1	1							
2前				2			1	1						
3前				2		1								
3前				2		1								
化学 工 学	化学工学基礎 分離工学Ⅰ 分離工学Ⅱ 移動現象論Ⅱ 反応工学 環境エネルギー演習 環境エネルギー実験Ⅰ 環境エネルギー実験Ⅱ 環境エネルギー実験Ⅲ 化学工学設計製図	2前		2								兼 1		
		2後		2			1							
		3前		2			1							
		2後		2			1							
		3前		2		1								
		2前		1		1	1					兼 1		
		2前		1			2		5					
		2後		3			3			4		兼 1		
		3前		3		1	3			4		兼 1		
環境 創 生 の た め の 基 礎 力 学	環境創生のための基礎力 学 建設材料学 コンクリート工学Ⅰ コンクリート工学Ⅱ 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ	1後	2			1		1				兼 1		
		2前		2						1				
		2後		2								兼 +		
		3前		2								兼 +		
		2前		2					1					
		2後		2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
社会基盤整備・防災	構造力学演習	3前		1				1				講師から准教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
	耐震工学	3後		2		1							
	土と地盤の力学Ⅰ	2前		2		1							
	土と地盤の力学Ⅱ	2後		2		1							
	地盤力学演習	3前		1					1				
	地盤環境工学	3前		2							兼	1	
	水理学Ⅰ	2前		2		1							
	水理学Ⅱ	2後		2			1						
	水理学演習	3前		1							兼	1	
	河川水文学	2後		2		1							
	防災工学	3前		2			1						
	計画理論Ⅰ	2前		2		1				1			担当教員の変更(准教授)(25) 変更書25年6月提出予定
	計画理論Ⅱ	2後		2							兼	1	担当教員の変更(准教授)(25) 変更書25年6月提出予定
	交通・都市開発工学	3前		2							兼	1	
	公共経済学	2前		2		1							
	都市工学演習	2後		1							兼	1	担当教員の追加(教授)変更(准教授)(25) 変更書25年6月提出予定
	測量学	2前		2		1							
	空間情報学	2後		2							兼	1	
	測量学実習	2後		1						1			助教から准教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定
	社会基盤工学実験Ⅰ	3前		1		1	1			2	兼	1	担当教員の追加(助教) 変更書25年8月提出予定 担当教員の変更(准教授)(25) 変更書25年6月提出予定
社会基盤工学実験Ⅱ	3後		1					1	2	兼	1	担当教員の変更(准教授)(25) 講師から准教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
建設設計製図	3後		1							兼	1		
建築概論	3後		2							兼	1		
理工情報処	プログラミン基礎	2前	1							兼	1		
	数値解法	3後		2			1	1	1	兼	1	講師から准教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
英専語門	専門英語Ⅰ	2前	2							兼	2		
	専門英語Ⅱ	2後	2							兼	2		
卒業研究	卒業研究	4通	8			11	6	2		兼	3	講師から准教授に2名昇任(25) 変更書25年6月提出予定	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	119	2	138	17	119	2	138	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

<理工学部 電子情報理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
全学共通科目	教養基盤科目	学びのリテラシー(1)	1前		2			1				兼 1	担当教員2名(准教授1、講師1)を追加予定(25) 担当教員を1名追加(25) 変更書25年8月提出予定	
		学びのリテラシー(2)	1後		2			1	1			兼 6		
		英語	1前・後		4							兼 10		
		スポーツ・健康	1前・後		3							兼 5		
		情報	1前		2							兼 5		
	教養育成科目	就業力	1前		2			1				兼 4		
		人文科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 10		担当予定教員の都合により1名減員(25)
		社会科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 9		
		自然科学科目群	1・2・3・4前・後		2		1					兼 13		
		健康科学科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 7		
外国語教養科目群	1・2・3・4前・後		2							兼 2				
学部別科目	基盤教育 入門科目	総合科目群	1・2・3・4前・後		2		1					兼 14		
		学びのリテラシー(3)	2・3・4前・後	2			8	9	1	2		兼 3 2	担当教員を1名追加(25)	
理学系基盤教育科目	系概論	数学入門	1・2・3・4前・後			2	1							
		物理学入門	1・2・3・4前・後			2						兼 1		
	系実験	物理学概論	1前	2			1	1					兼 2	
		化学概論	1前	2									兼 2	
		微分積分学Ⅰ	1前	2					1				兼 1	
		微分積分学Ⅱ	1後	2									兼 2	
		線形代数学Ⅰ	1前	2									兼 2	
線形代数学Ⅱ	1後	2			1						兼 1			
力学	1後	2				1					兼 1			
理学系展開科目	数学系列科目群	基礎物理実験	2前	1								兼 4	担当予定教員退職のため後任選考中(25) 担当予定教員退職のため後任選考中(25)	
		基礎化学実験	1前	1								兼 4		
		基礎微分方程式	3・4後		2				1					兼 1
		常微分方程式	2前		2					1				兼 4
		ベクトル解析	2前		2									兼 1
		複素関数論	2後		2									兼 1
		偏微分方程式	3前		2									兼 1
		確率統計Ⅰ	2前・後		2		1		1					兼 1
		確率統計Ⅱ	2後		2									兼 1
		確率統計演習	2通		1		1				1			兼 1
	代数学	3後		2								兼 1		
	離散数学Ⅰ	2前		2								兼 1		
	離散数学Ⅱ	2後		2		1						兼 1		
	離散数学演習	2通		1		1				1		兼 1		
	抽象数学	3前		2				1				兼 1		
	信号数理解析	3・4前		2								兼 1		
	物理系列科目群	振動波動	2前		2									兼 1
振動波動演習		2前		1								兼 1		
電磁気学Ⅰ		2前		2		1						兼 1		
電磁気学Ⅱ		2後		2		1						兼 1		
電磁気学演習		2前		1					2			兼 1		
熱力学Ⅰ		3・4前		2								兼 1		
熱力学Ⅱ		3・4後		2								兼 1		
流体力学Ⅰ		3・4前		2								兼 1		
流体力学Ⅱ		3・4後		2								兼 1		
移動現象論Ⅰ		3・4前		2								兼 2		
物性物理学	2前		2				1				兼 1			
基礎量子論	3・4後		2								兼 1			
量子力学Ⅰ	2後		2				1				兼 1			
量子力学Ⅱ	3前		2								兼 1			
統計力学	3後		2								兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
化学系列科目群	物理化学Ⅰ	3・4前		2							兼	1	
	物理化学Ⅱ	3・4後		2							兼	1	
	無機化学Ⅰ	3・4前		2							兼	1	
	無機化学Ⅱ	3・4後		2							兼	1	
	有機化学Ⅰ	3・4前		2							兼	1	
	有機化学Ⅱ	3・4後		2							兼	1	
	分析化学Ⅰ	3・4前		2							兼	1	
	分析化学Ⅱ	3・4後		2							兼	1	
	高分子化学Ⅰ	3・4前		2							兼	1	
	高分子化学Ⅱ	3・4後		2							兼	1	
生物系列科目群	基礎生物学	3・4前		2							兼	1	
	微生物学	3・4前		2							兼	2	
	生化学	3・4前		2							兼	3	
	細胞生物学	3・4後		2							兼	2	
	環境微生物学	3・4前		2							兼	1	
学部共通科目	国際コミュニケーション実習Ⅰ	1・2・3・4通		1							兼	1	
	国際コミュニケーション実習Ⅱ	1・2・3・4通		2							兼	1	
	インターンシップⅠ	2通		1							兼	1	
	インターンシップⅡ	3通		1			1				兼	1	
	知的財産専門講座	3・4後		2							兼	1	
	経営工学	2・3・4前		2							兼	2	
学科専門科目	分野統合科目	電子情報理工学入門	1前	2			3	4				兼	2
		基礎電子情報理工学Ⅰ	1後	2			2	2				兼	1
		基礎電子情報理工学Ⅱ	1後	2			2	2				兼	1
		プログラミング言語Ⅰ	2前		2			1			1	兼	1
		プログラミング言語Ⅱ	2後		2			1	1			兼	1
		情報通信工学	3前		2			1				兼	1
		画像処理	3後		2			1				兼	1
		情報理論	3前		2			2				兼	1
		制御工学	3前		2							兼	1
	通信方式	3後		2							兼	1	
	電気電子実験群	電気電子工学実験Ⅰ	2後		2		2	3			1	兼	1
		電気電子工学実験Ⅱ	3前		2		1	2			2	兼	1
		電気電子工学実験Ⅲ	3前		2		1	3				兼	1
		電気電子工学実験Ⅳ	3後		2			3			2	兼	2
		電気電子工学実験Ⅴ	3後		2		3	1			2	兼	1
	情報科学実験演習群	基礎情報処理演習	2前		1							兼	1
		プログラミング演習Ⅰ	2前		1						1	兼	1
		プログラミング演習Ⅱ	2後		1						1	兼	1
		ソフトウェア演習Ⅰ	3前		1						1	兼	1
ソフトウェア演習Ⅱ		3後		1						1	兼	1	
ソフトウェア演習Ⅲ		4前		2			1				兼	1	
情報科学実験Ⅰ		3前		1			1			1	兼	1	
情報科学実験Ⅱ	3後		1			1			1	兼	1		
専門基礎科目	電気回路Ⅰ	2前		2		1					兼	1	
	電気回路演習Ⅰ	2前		1						1	兼	1	
	電子回路Ⅰ	2後		2		1					兼	1	
	電気回路Ⅱ	2後		2			1				兼	1	
	基礎電気数学	2後		2			1				兼	1	
	電気回路演習Ⅱ	2後		1						1	兼	1	
	電磁気及び回路演習	2後		1						1	兼	1	
	データ構造	2後		2		1					兼	1	
	数値解析	2後		2		1					兼	1	
	論理設計	2後		2			1				兼	1	
	オペレーティングシステム	2後		2		1					兼	1	
	電子回路Ⅱ	3前		2		1					兼	1	
	電子回路設計	3前		2						1	兼	1	
	アルゴリズムⅠ	3前		2		1					兼	1	
	形式言語とオートマトン	3前		2		1					兼	1	
数理計画	3前		2			1				兼	1		
プログラミング言語Ⅲ	3前		2			1				兼	1		
計算機工学	3前		2			1				兼	1		
計算機システムⅠ	3前		2		1					兼	1		

<理工学部 総合理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目	教養基盤 学びのリテラシー(1) (F) 学びのリテラシー(2) (F) 英語 (F)	1前 1後 1前・後		2 2 2		1					兼 兼 兼	1 2 2 担当教員の都合により1名減員(25)	
	成教養育 自然科学科目群 (F) 総合科目群 (F)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後		2 4		1 1					兼	6	
学部別科目	基盤教育科 学びのリテラシー(3) (F)	2前		2		1					兼	1	
理学系基盤教育科目	概論系 物理学概論 (F) 化学概論 (F)	1前 1前		2 2		1					兼	1	
	教物系科目 微分積分学 I (F) 微分積分学 II (F) 線形代数学 I (F) 線形代数学 II (F) 力学 (F)	1前 1後 1前 1後 1前		2 2 2 2 2		1					兼 兼 兼 兼	1 1 1 1	
	実験系 基礎物理実験 (F) 基礎化学実験 (F)	1前 1前		1 1		1	1			1	兼	2 准教授から教授に昇任(25) 変更書25年6月提出予定	
	数学系科目 常微分方程式 (F) ベクトル解析 (F) 確率統計 I (F) 離散数学 I (F)	2前 2前 3後 3後		2 2 2 2		1		1			兼	1 担当予定教員退職のため後任選考中(25) 変更書25年8月提出予定	
理学系展開科目	物理系科目 振動波動 (F) 熱力学 I (F) 流体力学 I (F) 電磁気学 I (F) 移動現象論 I (F)	2前 2前 2前 2後 3前		2 2 2 2 2		1 1		1			兼	1 2	
	化学系科目 物理化学 I (F) 分析化学 I (F) 無機化学 I (F) 有機化学 I (F) 高分子化学 I (F)	2前 2前 2後 3後 4前		2 2 2 2 2		1		1			兼 兼 兼 兼	1 1 1 1	
	科系生 群目列物 生化学 (F)	2後		2							兼	1	
	通学部目共	国際コミュニケーション実習 I (F) 国際コミュニケーション実習 II (F)	1・2・3・4通 1・2・3・4通		1 2		4 4						
		語英門専 専門英語 I (F)	2前		2		1						
化学系・科生 目物	化学・生物化学基礎 I (F) 化学・生物化学基礎 II (F) 化学・生物化学基礎 III (F) 化学・生物化学基礎 IV (F)	1前 1後 1後 1後		2 2 2 2		1	1				兼 兼 兼	2 1 1 准教授から教授に昇任(25)変更書25年6月提出予定	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目	機械知能系科目	工業力学 (F)	1後	2							兼	1
		材料力学Ⅰ (F)	2後	2		1					兼	1
		機構学 (F)	2後	2							兼	1
		機械材料Ⅰ (F)	3前	2							兼	1
		機械力学 (F)	3前	2							兼	1
		機械製図 (F)	3前	1				1			兼	1
		機械加工学 (F)	3後	2							兼	1
		制御工学Ⅰ (F)	3後	2							兼	1
		熱および物質移動 (F)	3後	2							兼	1
		機械要素設計 (F)	4前	2							兼	1
	機械知能システム工学実験Ⅰ (F)	4前	1			1	1		2	兼	1	
	機械知能システム工学実験Ⅱ (F)	4後	1			1	1		2	兼	1	
	環境創生系科目	化学工学基礎 (F)	2後		2		1				兼	1
		分離工学Ⅰ (F)	3前		2						兼	2
		環境エネルギー実験Ⅰ (F)	3前		1						兼	3
		材料科学 (F)	3後		2						兼	2
		工業化学概論 (F)	4前		2		1				兼	2
		計画理論Ⅰ (F)	3前		2						兼	2
		建設材料学 (F)	3前		2						兼	1
		廃棄物管理工学 (F)	3後		2						兼	1
		防災工学 (F)	4前		2					1	兼	1
	電子情報系科目	基礎電子工学 (F)	1後		2						兼	4
		電気回路 (F)	2後		2			1			兼	3
		電気電子工学実験Ⅰ (F)	2後		1			1			兼	1
		電子物性工学Ⅰ (F)	3前		2						兼	1
		電気電子材料 (F)	3後		2			1			兼	1
		電力系統工学 (F)	4前		2						兼	1
		計測工学 (F)	4前		2		1				兼	3
		電子物理計測 (F)	4後		2			1			兼	1
		プログラミング言語Ⅰ (F)	2後		2			1			兼	1
		プログラミング言語Ⅱ (F)	3前		2						兼	1
	データ構造 (F)	3後		2						兼	1	
	総合理工学先端特別研究	化学・生物化学先端特別ゼミ (F)	4後		4		3				兼	12
		機械知能システム理工学先端特別ゼミ (F)	4後		4		2				兼	13
		環境創生理工学先端特別ゼミ (F)	4後		4		2				兼	13
		電子情報理工学先端特別ゼミ (F)	4後		4		2				兼	13

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	66	0	73	7	66	0	73	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	未開講科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	廃止科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\quad - \quad}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 8,696㎡ 借用期間： 1年更新			
	校舎敷地	420,537 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	420,537 ㎡				
	運動場用地	93,558 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	93,558 ㎡				
	小 計	514,095 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	514,095 ㎡				
	そ の 他	117,939 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	117,939 ㎡				
	合 計	632,034 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	632,034 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 4,561㎡ 借用期間： 1年更新				
	292,281 ㎡ (292,281 ㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	292,281 ㎡ (292,281 ㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	97 室	47 室	194 室	14 室 (補助職員 4人)	2室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学部			398 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共有分 図書332,310冊 学術雑誌3,317種	
		理工学部	150,925 [65,339] (150,925 [65,339])	3,646 [1,830] (3,646 [1,830])	32 [32] (32 [32])	1,293 (1,293)	41 (41)		0 (0)
	計	158,064 [65,066] (158,064 [65,066])	3,646 [1,830] (3,646 [1,830])	5,103 [5,103] (5,103 [5,103])	1,293 (1,293)	41 (41)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,750 ㎡		388 席		350,530 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,713 ㎡		野球場2面、陸上競技場1面、サッカー・ラグビー場2面、テニスコート12面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
	共同研究費等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		－							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	群馬大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 員	収 定 容 員	学位又は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
教育学部 学校教育教員養成課程	4	220		880	学士（教育学）	1.04	H11	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
社会情報学部			3年次				H11	
情報行動学科	4	50	10	220	学士（社会情報学）	1.04	H18	
情報社会科学科	4	50	10	220	学士（社会情報学）	1.02	H18	
医学部			2年次					群馬県前橋市昭和町三丁目39番2号
医学科	6	108	15	723	学士（医学）	1.00	S24	
保健学科	4	160	10	660	学士（看護学） 学士（保健学）	1.01	H8	
工学部 （昼間コース）								群馬県桐生市天神町一丁目5番1号
応用化学・生物化学科	4	—		510	学士（工学）	—	H19	
機械システム工学科	4	—		210	学士（工学）	—	H元	
生産システム工学科	4	—		120	学士（工学）	—	H19	
環境プロセス工学科	4	—		120	学士（工学）	—	H19	
社会環境デザイン工学科	4	—		120	学士（工学）	—	H19	
電気電子工学科	4	—		210	学士（工学）	—	H元	
情報工学科	4	—		150	学士（工学）	—	H元	
学科共通	4	—	3年次	60	学士（工学）	—	H19	
（夜間主コース） 生産システム工学科	4	—		90	学士（工学）	—	H19	
理工学部 （昼間コース）								
化学・生物化学科	4	160		160	学士（理工学）	1.03	H25	
機械知能システム理工学科	4	110		110	学士（理工学）	1.02	H25	
環境創生理工学科	4	90		90	学士（理工学）	1.03	H25	
電子情報理工学科 （夜間主コース）	4	120		120	学士（理工学）	1.08	H25	

平成25年度より
学生募集停止

総合理工学科	4	30		30	学士（理工学）	1.06	H25	
教育学研究科								群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
〈修士課程〉								
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士（教育学）	0.83	H18	
教科教育実践専攻	2	20	—	40	修士（教育学）	1.17	H20	
〈専門職学位課程〉								
教職リーダー専攻	2	16	—	32	教職修士（専門職）	1.06	H20	
社会情報学研究科								
〈修士課程〉								
社会情報学専攻	2	14	—	28	修士（社会情報学）	1.00	H10	
医学系研究科								群馬県前橋市昭和町三丁目39番2号
〈修士課程〉								
生命医科学専攻	2	15	—	30	修士（生命医科学）	0.73	H19	
〈博士課程〉								
医科学専攻	4	57	—	243	博士（医学）	0.96	H15	
保健学研究科								
〈博士前期課程〉								
保健学専攻	2	50	—	100	修士（保健学）	1.03	H23	
〈博士後期課程〉								
保健学専攻	3	10	—	35	博士（保健学）	1.16	H23	
工学研究科								群馬県桐生市天神町一丁目5番1号
〈博士前期課程〉								
応用化学・生物化学専攻	2	—	—	106	修士（工学）	—	H19	
機械システム工学専攻	2	—	—	44	修士（工学）	—	H元	
生産システム工学専攻	2	—	—	30	修士（工学）	—	H19	
環境プロセス工学専攻	2	—	—	22	修士（工学）	—	H19	
社会環境デザイン工学専攻	2	—	—	22	修士（工学）	—	H19	
電気電子工学専攻	2	—	—	44	修士（工学）	—	H元	
情報工学専攻	2	—	—	32	修士（工学）	—	H元	
〈博士前期課程〉								
工学専攻	3	—	—	78	博士（工学）	—	H19	

平成25年度より
学生募集停止

理工学府								
〈博士前期課程〉								
理工学専攻	2	300	—	300	修士（理工学）	1.05	H25	
〈博士後期課程〉								
理工学専攻	3	39	—	39	博士（理工学）	0.69	H25	

（注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「—」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（理工学部 化学・生物化学科）

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (25年4月)	<p>1. 理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性をふさわしく整理すること。</p>	<p>理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性を次のとおり整理した。</p> <p>【目的】 理工学部及び理工学府の設置は、「従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し解決できる能力を身に付け、知識を総合して実践的に研究・開発能力を発揮できる人材の育成を目指した教育を推進」し、また、医学系研究科等の本学の他部局や他の研究・教育機関等とも連携しながら組織する様々なプロジェクト研究活動を基軸として、そこに大学院学生を参加させることによって「専門分野についての実践的能力の醸成と関連する多様な分野に対する総合的な理解力の育成を図る」という教育・研究戦略を推進するためのものである。</p> <p>理工学部は、高度科学・技術の基盤となる理学（サイエンス）の観点からの理学系教育内容の充実を図ることにより、俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力を持つ人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>理工学府は、基礎教育としての理学系共通教育科目、高度実践スキルの修得を目指す大学院実践実習科目（学府開放教育科目）及び分野統合型科目等を開講することにより、現在強く社会から求められている、豊かな理学的素養を基盤としつつ分野融合型教育による統合知や高度実践スキルを自発的に身に付けた高度理工系人材として、速やかに産業活動や科学・技術進進のための活動に参加して活躍していく人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 現在、人類の福祉と産業の発展に寄与し、持続的発展社会の構築を目指す先端学術分野における今日的な課題の解決に向けて、医学・化学・機械・電気電子・情報など多岐にわたる関連分野の研究者が協力した分野統合型の教育・研究を行い、課題解決のできる研究者及び高度専門職業人の養成が必要となっている。</p> <p>さらに、研究者及び高度専門職業人においては、高度化・専門化した知識とともに、個別専門分野を貫く基盤となる基礎的な知識、即ち理学的な知識と素養の下に広い応用分野に対応できる専門的な知恵とも言うべき「統合知」を備えることが必要となっている。</p> <p>このような、今日の科学・技術人材に強く求められている「従来の個別学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力」の育成のためには、理工学部及び理工学府を同時に設置し、教育・研究組織体制の充実を図る必要がある。</p>	
	<p>(その他意見) ○ 早期卒業に必要な演習・実験の単位読み替え規定等を整備する等、早期卒業を希望する学生を支援する体制を適切に整備することが望ましい。また、早期卒業を希望する学生を2年次後期から研究室に配属するとの説明があるため、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」との記載を適切に改めること。</p>	<p>早期卒業を希望する学生を支援するため、「群馬大学理工学部早期卒業に関する内規」（平成25年4月1日制定）を整備した。</p> <p>なお、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」を「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（理工学部 機械知能システム理工学科）

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (25年4月)	1. 理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性をふさわしく整理すること。	<p>理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性を次のとおり整理した。</p> <p>【目的】 理工学部及び理工学府の設置は、「従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し解決できる能力を身に付け、知識を総合して実践的に研究・開発能力を発揮できる人材の育成を目指した教育を推進」し、また、医学系研究科等の本学の他部局や他の研究・教育機関等とも連携しながら組織する様々なプロジェクト研究活動を基軸として、そこに大学院学生を参加させることによって「専門分野についての実践的能力の醸成と関連する多様な分野に対する総合的な理解力の育成を図る」という教育・研究戦略を推進するためのものである。</p> <p>理工学部は、高度科学・技術の基盤となる理学（サイエンス）の観点からの理学系教育内容の充実を図ることにより、俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力を持つ人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>理工学府は、基盤教育としての理学系共通教育科目、高度実践スキルの修得を目指す大学院実践実習科目（学府開放教育科目）及び分野統合型科目等を開講することにより、現在強く社会から求められている、豊かな理学的素養を基盤としつつ分野融合型教育による統合知や高度実践スキルを自発的に身に付けた高度理工系人材として、速やかに産業活動や科学・技術進展のための活動に参加して活躍していく人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 現在、人類の福祉と産業の発展に寄与し、持続的発展社会の構築を目指す先端学問分野における今日的な課題の解決に向けて、医学・化学・機械・電気電子・情報など多岐にわたる関連分野の研究者が協力した分野統合型の教育・研究を行い、課題解決のできる研究者及び高度専門職業人の養成が必要となっている。</p> <p>さらに、研究者及び高度専門職業人においては、高度化・専門化した知識とともに、個別専門分野を貫く基盤となる基礎的な知識、即ち理学的な知識と素養の下に広い応用分野に対応できる専門的な知恵とも言うべき「統合知」を備えることが必要となっている。</p> <p>このような、今日の科学・技術人材に強く求められている「従来の個別学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力」の育成のためには、理工学部及び理工学府を同時に設置し、教育・研究組織体制の充実を図る必要がある。</p>	
	<p>(その他意見)</p> <p>○ 早期卒業に必要な演習・実験の単位読み替え規定等を整備する等、早期卒業を希望する学生を支援する体制を適切に整備することが望ましい。また、早期卒業を希望する学生を2年次後期から研究室に配属すると説明があるため、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」を「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	<p>早期卒業を希望する学生を支援するため、「群馬大学理工学部早期卒業に関する内規」（平成25年4月1日制定）を整備した。</p> <p>なお、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」を「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（理工学部 環境創生理工学科）

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (25年4月)	1. 理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性をふさわしく整理すること。	<p>理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性を次のとおり整理した。</p> <p>【目的】 理工学部及び理工学府の設置は、「従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し解決できる能力を身に付け、知識を総合して実践的に研究・開発能力を発揮できる人材の育成を目指した教育を推進」し、また、医学系研究科等の本学の他部局や他の研究・教育機関等とも連携しながら組織する様々なプロジェクト研究活動を基軸として、そこに大学院学生を参加させることによって「専門分野についての実践的能力の醸成と関連する多様な分野に対する総合的な理解力の育成を図る」という教育・研究戦略を推進するためのものである。</p> <p>理工学部は、高度科学・技術の基盤となる理学（サイエンス）の観点からの理学系教育内容の充実を図ることにより、俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力を持つ人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>理工学府は、基盤教育としての理学系共通教育科目、高度実践スキルの修得を目指す大学院実践実習科目（学府開放教育科目）及び分野統合型科目等を開講することにより、現在強く社会から求められている、豊かな理学的素養を基盤としつつ分野融合型教育による統合知や高度実践スキルを自発的に身に付けた高度理工系人材として、速やかに産業活動や科学・技術進展のための活動に参加して活躍していく人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 現在、人類の福祉と産業の発展に寄与し、持続的発展社会の構築を目指す先端学術分野における今日的な課題の解決に向けて、医学・化学・機械・電気電子・情報など多岐にわたる関連分野の研究者が協力した分野統合型の教育・研究を行い、課題解決のできる研究者及び高度専門職業人の養成が必要となっている。</p> <p>さらに、研究者及び高度専門職業人においては、高度化・専門化した知識とともに、個別専門分野を貫く基盤となる基礎的な知識、即ち理学的な知識と素養の下に広い応用分野に対応できる専門的な知恵とも言うべき「統合知」を備えることが必要となっている。</p> <p>このような、今日の科学・技術人材に強く求められている「従来の個別学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力」の育成のためには、理工学部及び理工学府を同時に設置し、教育・研究組織体制の充実を図る必要がある。</p>	
	<p>（その他意見）</p> <p>○ 早期卒業に必要な演習・実験の単位読み替え規定等を整備する等、早期卒業を希望する学生を支援する体制を適切に整備することが望ましい。また、早期卒業を希望する学生を2年後期から研究室に配属するとの説明があるため、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」との記載を適切に改めること。</p>	<p>早期卒業を希望する学生を支援するため、「群馬大学理工学部早期卒業に関する内規」（平成25年4月1日制定）を整備した。</p> <p>なお、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」とを「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	
	<p>○ 学科の統合を行ったことのメリットがカリキュラムの履修へ反映されることが必要である。例えば、履修モデルを確実に実現するために、分野統合科目である「環境材料科学」「環境科学総論」「環境修復科学」「環境創生理工学」を環境エネルギーコース及び社会基盤・防災コース双方の選択必修科目とするなどの工夫を行うこと。</p>	<p>学科の統合を行ったメリットとして、分野統合科目である「環境材料科学」「環境科学総論」「環境修復科学」「環境創生理工学」を環境エネルギーコース及び社会基盤・防災コース双方の選択必修科目とし、学生が受講しやすい時間帯に開講することとした。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（理工学部 電子情報理工学科）

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (25年4月)	<p>1. 理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性をふさわしく整理すること。</p>	<p>理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性を次のとおり整理した。</p> <p>【目的】 理工学部及び理工学府の設置は、「従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し解決できる能力を身に付け、知識を総合して実践的に研究・開発能力を発揮できる人材の育成を目指した教育を推進」し、また、医学系研究科等の本学の他部局や他の研究・教育機関等とも連携しながら組織する様々なプロジェクト研究活動を基軸として、そこに大学院学生を参加させることによって「専門分野についての実践的能力の醸成と関連する多様な分野に対する総合的な理解力の育成を図る」という教育・研究戦略を推進するためのものである。</p> <p>理工学部は、高度科学・技術の基盤となる理学（サイエンス）の観点からの理学系教育内容の充実を図ることにより、俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力を持つ人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>理工学府は、基盤教育としての理学系共通教育科目、高度実践スキルの修得を目指す大学院実践実習科目（学府開放教育科目）及び分野統合型科目等を開講することにより、現在強く社会から求められている、豊かな理学的素養を基盤としつつ分野融合型教育による統合知や高度実践スキルを自発的に身に付けた高度理工系人材として、速やかに産業活動や科学・技術進進のための活動に参加して活躍していく人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 現在、人類の福祉と産業の発展に寄与し、持続的発展社会の構築を目指す先端学術分野における今日的な課題の解決に向けて、医学・化学・機械・電気電子・情報など多岐にわたる関連分野の研究者が協力した分野統合型の教育・研究を行い、課題解決のできる研究者及び高度専門職業人の養成が必要となっている。</p> <p>さらに、研究者及び高度専門職業人においては、高度化・専門化した知識とともに、個別専門分野を貫く基盤となる基礎的な知識、即ち理学的な知識と素養の下に広い応用分野に対応できる専門的な知恵とも言うべき「統合知」を備えることが必要となっている。</p> <p>このような、今日の科学・技術人材に強く求められている「従来の個別学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力」の育成のためには、理工学部及び理工学府を同時に設置し、教育・研究組織体制の充実を図る必要がある。</p>	
	<p>(その他意見) ○ 早期卒業に必要な演習・実験の単位読み替え規定等を整備する等、早期卒業を希望する学生を支援する体制を適切に整備することが望ましい。また、早期卒業を希望する学生を2年次後期から研究室に配属するとの説明があるため、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」との記載を適切に改めること。</p>	<p>早期卒業を希望する学生を支援するため、「群馬大学理工学部早期卒業に関する内規」（平成25年4月1日制定）を整備した。</p> <p>なお、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」と「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	
	<p>○ 設置の趣旨等を記載した書類において「本研究科」とあるのを「本学部及び研究科」という記載に統一すること。</p>	<p>設置の趣旨等を記載した書類において「本研究科」とあるのを「本学部及び研究科」という記載に改めた。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等（理工学部 総合理工学科）

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (25年4月)	<p>1. 理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性をふさわしく整理すること。</p>	<p>理工学部と理工学府を同時に設置することを踏まえて、それぞれ設置する目的、必要性を次のとおり整理した。</p> <p>【目的】 理工学部及び理工学府の設置は、「従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し解決できる能力を身に付け、知識を総合して実践的に研究・開発能力を発揮できる人材の育成を目指した教育を推進」し、また、医学系研究科等の本学の他部局や他の研究・教育機関等とも連携しながら組織する様々なプロジェクト研究活動を基軸として、そこに大学院学生を参加させることによって「専門分野についての実践的能力の醸成と関連する多様な分野に対する総合的な理解力の育成を図る」という教育・研究戦略を推進するためのものである。</p> <p>理工学部は、高度科学・技術の基盤となる理学（サイエンス）の観点からの理学系教育内容の充実を図ることにより、俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力を持つ人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>理工学府は、基盤教育としての理学系共通教育科目、高度実践スキルの修得を目指す大学院実践実習科目（学府開放教育科目）及び分野統合型科目等を開講することにより、現在強く社会から求められている、豊かな理学的素養を基盤としつつ分野融合型教育による統合知や高度実践スキルを自発的に身に付けた高度理工系人材として、速やかに産業活動や科学・技術進展のための活動に参加して活躍していく人材の育成を図ることを目的とする。</p> <p>【必要性】 現在、人類の福祉と産業の発展に寄与し、持続的発展社会の構築を目指す先端学術分野における今日的な課題の解決に向けて、医学・化学・機械・電気電子・情報など多岐にわたる関連分野の研究者が協力した分野統合型の教育・研究を行い、課題解決のできる研究者及び高度専門職業人の養成が必要となっている。</p> <p>さらに、研究者及び高度専門職業人においては、高度化・専門化した知識とともに、個別専門分野を貫く基盤となる基礎的な知識、即ち理学的な知識と素養の下に広い応用分野に対応できる専門的な知恵とも言うべき「統合知」を備えることが必要となっている。</p> <p>このような、今日の科学・技術人材に強く求められている「従来の個別学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題をとらえ、持てる知識を総合化して実践的・独創的に課題を解決していくことができる素養と能力」の育成のためには、理工学部及び理工学府を同時に設置し、教育・研究組織体制の充実を図る必要がある。</p>	
	<p>(その他意見) ○ 早期卒業に必要な演習・実験の単位読み替え規定等を整備する等、早期卒業を希望する学生を支援する体制を適切に整備することが望ましい。また、早期卒業を希望する学生を2年次後期から研究室に配属するとの説明があるため、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」との記載を適切に改めること。</p>	<p>早期卒業を希望する学生を支援するため、「群馬大学理工学部早期卒業に関する内規」（平成25年4月1日制定）を整備した。</p> <p>なお、設置の趣旨等を記載した書類（23頁）（2）優秀な学生への大学院進学支援中の「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき3年後期での卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」を「また、厳密な成績評価とGPAを活用した初年時教育からの通算成績評価に基づき2年後期からの卒業研究を実施することにより、3年次修了時での早期卒業・博士前期課程への早期進学を可能とする体制を整備する」に改めた。</p>	

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①教養用教育科目区分名等の変更(25)</p> <p>全学共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 教養基盤科目 - 教養育成科目 <p>学部別科目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 基盤教育科目 - 入門科目 <p>理学系基盤教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 概論系科目 - 数物系科目 - 実験系科目 <p>②化学・生物化学科(25)</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学共通科目 27単位を修得する。 ○学部別科目 学びのリテラシー(3)2単位を修得する。 ○理学系基盤教育科目 16単位を修得する。 ○理学系展開科目 化学系列科目から14単位以上、生物系列科目から4単位以上を含む22単位以上修得する。 ○学科専門科目 分野別統合科目16単位、専門A25単位を修得する。 ○その他 上記で修得した以外の理学系展開科目、学部共通科目及び専門Bから19単位以上修得する。 ○卒業に必要な単位数は127単位以上とする。 	<p>①教養用教育科目区分の変更(25)</p> <p>全学共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 教養基盤科目 <u>(学士力育成)</u> - 教養育成科目 <p>学部別科目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 専門基礎科目 <u>(基盤教育科目)</u> - 専門基礎科目 <u>(理学系基盤教育科目)</u> - 専門基礎科目 <u>(入門科目)</u> <p>(理由) 教育課程の充実を図るため、科目区分の階層及び科目区分名を一部変更した。</p> <p>②化学・生物化学科(25)</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学共通科目 27単位を修得する。 ・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、<u>2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。</u> ・<u>選択英語(教養教育授業案内参照)以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年(2単位以上)で修得すること。</u> ○学部別科目 学びのリテラシー(3)2単位を修得する。 ○理学系基盤教育科目 16単位を修得する。 ○入門科目 <u>※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件単位数の学部別科目18単位には含まない。</u> ○理学系展開科目 化学系列科目から14単位以上、生物系列科目から4単位以上を含む22単位以上修得する。 ○学科専門科目 分野別統合科目16単位、専門A25単位を修得する。 ○その他 上記で修得した以外の理学系展開科目、学部共通科目及び専門Bから19単位以上修得する。 ・<u>他学科、他学部、他大学(放送大学を含む単位互換協定大学)及び産学連携・知的財産戦略室の科目で学部長が認めた科目については6単位まで専門Bの科目として取り扱うことができる。</u> ○卒業に必要な単位数は<u>教養教育科目45単位を含めて127単位以上とする。</u> (理由) 教育上有益である他学科等の学修を認め、学生に対し便宜を図るため。また、学生に対しわかりやすく説明を加えるため。

③機械知能システム理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
- 理学系展開科目
必修科目を含めて15単位以上を修得する。
- 学科専門科目
修科目47単位、選択必修科目23単位を含めて70単位以上修得する。
- その他
学部共通科目、上記以外の理学系展開科目および学科専門科目から2単位以上修得する。
- 卒業に必要な単位数は132単位以上とする。

④環境創生理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
- 理学系展開科目
【環境エネルギーコース】
■印科目の12単位を含む18単位以上修得する。
【社会基盤・防災コース】
*印科目の中から6単位以上修得する。
- 学科専門科目及び学部共通科目
【環境エネルギーコース】
必修科目19単位、■科目の32単位を含めて合計65単位以上修得すること。
【社会基盤・防災コース】
必修科目19単位、◎印科目の36単位、○印科目から14単位以上を含めて合計77単位以上修得すること。
- 卒業に必要な単位数は128単位以上とする。

③機械知能システム理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。
・選択英語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
- 入門科目
※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件単位数の学部別科目18単位には含まない。
- 理学系展開科目
必修科目を含めて15単位以上を修得する。
- 学科専門科目
修科目47単位、選択必修科目23単位を含めて70単位以上修得する。
- その他
学部共通科目、上記以外の理学系展開科目および学科専門科目から2単位以上修得する。
・他学科、他学部、他大学（放送大学を含む単位互換協定大学）及び産学連携・知的財産戦略室の科目で学部長が認めた科目については、6単位まで学科専門科目の選択必修科目として取り扱うことができる。
- 卒業に必要な単位数は教養教育科目45単位を含めて132単位以上とする。

・編入生の卒業要件

出身学校で取得し、学科で個別に認定された科目の単位を含めて、上記の単位数を取得すること。

・日本技術者認定機構（JABEE）については、別表を参照のこと。

（理由）教育上有益である他学科等の学修を認め、学生に対し便宜を図るため。また、学生に対しわかりやすく説明を加えるため。

④環境創生理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。
・選択英語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
- 入門科目
※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件単位数の学部別科目18単位には含まない。
- 理学系展開科目
【環境エネルギーコース】
■印科目の12単位を含む18単位以上修得する。
【社会基盤・防災コース】
*印科目の中から6単位以上修得する。
- 学科専門科目及び学部共通科目

⑤電子情報理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
- 理学系展開科目
13単位以上を修得する。
- 学科専門科目
分野統合科目6単位、専門英語4単位、卒業研究10単位計20単位を修得する。
【電気電子コース】は電気電子実験群10単位を修得する。
【情報科学コース】は情報科学実験演習群9単位を修得する。
- その他
【電気電子コース】はA群から19単位以上を修得する。
【情報科学コース】はB群から22単位以上を修得する。
学部共通科目、理学系展開科目及び学科専門科目から合計87単位以上修得する。
- 卒業に必要な単位数は132単位以上とする。

【環境エネルギーコース】

必修科目19単位、■科目の32単位を含めて合計65単位以上修得すること。

【社会基盤・防災コース】

必修科目19単位、◎印科目の36単位、○印科目から14単位以上を含めて合計77単位以上修得すること。
・他学科、他学部、他大学（放送大学を含む単位互換協定大学）及び産学連携・知的財産戦略室の科目で学部長が認めた科目については、6単位まで学部共通科目として取り扱うことができる。

○卒業に必要な単位数は教養教育科目45単位を含めて128単位以上とする。

・編入生の卒業要件

出身学校で取得し、学科で個別に認定された科目の単位を含めて、上記の単位数を取得すること。

・日本技術者認定機構（JABEE）については、別表を参照のこと。

（理由）教育上有益である他学科等の学修を認め、学生に対し便宜を図るため。また、学生に対しわかりやすく説明を加えるため。

⑤電子情報理工学科

卒業要件及び履修方法

- 全学共通科目
27単位を修得する。
・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。
- ・選択英語（教養教育授業案内参照）以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年（2単位以上）で修得すること。
- 学部別科目
学びのリテラシー(3)2単位を修得する。
- 理学系基盤教育科目
16単位を修得する。
16単位を修得する。
- 入門科目
※学科で指定された学生は、入門科目を履修することが望ましい。希望者も履修することができる。卒業要件単位数の学部別科目18単位には含まない。
- 理学系展開科目
13単位以上を修得する。
- 学科専門科目
分野統合科目のうち必修科目6単位、専門英語4単位、卒業研究10単位計20単位を修得する。
【電気電子コース】は電気電子実験群10単位を修得する。
【情報科学コース】は情報科学実験演習群9単位を修得する。
- その他
学部共通科目、理学系展開科目及び学科専門科目から合計87単位以上修得する。なお、このうち10単位までは、他学科、他学部、他大学（放送大学を含む単位互換協定大学）及び産学連携・知的財産戦略室の科目で学部長が認めた科目を学科専門科目の専門展開科目として取り扱うことができる。
【電気電子コース】はA群から19単位以上を修得する。
【情報科学コース】はB群から22単位以上を修得する。
- 卒業に必要な単位数は教養教育科目45単位を含めて132単位以上とする。

<p>⑥総合理工学科</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <p>○全学共通科目及び学部別科目 10単位以上を修得する</p> <p>○理学系基盤教育科目 必修科目14単位を修得する。</p> <p>○理学系展開科目及び学科専門科目 総合理工学先端特別研究4単位を含む74単位以上を修得する。</p> <p>○その他 学部共通科目、上記以外の全学共通科目、学部別科目、理学系基盤教育科目、理学系展開科目および学科専門科目から26単位以上修得する。</p> <p>○卒業に必要な単位数は124単位以上とする。</p>	<p>(理由) 教育上有益である他学科等の学修を認め、学生に対し便宜を図るため。また、学生に対しわかりやすく説明を加えるため。</p> <p>⑥総合理工学科</p> <p>卒業要件及び履修方法</p> <p>○全学共通科目及び学部別科目 (基盤教育科目) 10単位以上を修得する</p> <p>・「就業力」の修得単位の合計が2単位を超えた場合は、<u>2単位まで「教養育成科目」の単位の合計に加算することができる。</u></p> <p>・<u>選択英語 (教養教育授業案内参照) 以外の外国語は同一教員が担当する授業科目を通年 (2単位以上) で修得すること。</u></p> <p>○理学系基盤教育科目 必修科目14単位 (概論系科目4単位、数物系科目10単位) を修得する。</p> <p>○理学系展開科目及び学科専門科目 総合理工学先端特別研究4単位を含む74単位以上を修得する。</p> <p>○その他</p> <p>・学部共通科目、上記以外の全学共通科目、学部別科目、理学系基盤教育科目、理学系展開科目および学科専門科目から26単位以上修得する。なお、このうち10単位までは、<u>他学部、他大学 (放送大学を含む単位互換協定大学) 及び知的財産戦略本部の科目で学部長が認めた科目を学科専門科目又は学部共通科目として取り扱うことができる。</u></p> <p>・卒業に必要な単位数は124単位以上とする。</p> <p>・<u>理工学部向けに昼間に開講される科目は、全て昼間開講科目として履修できるが、昼間開講科目を履修する場合は学部長に届け出るものとする。</u></p> <p>・<u>専門教育プログラムの修了要件については別途定める。</u></p> <p>(理由) 教育上有益である他学科等の学修を認め、学生に対し便宜を図るため。また、学生に対しわかりやすく説明を加えるため。</p>
--	---

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 群馬大学理工学研究院、大学院理工学府及び理工学部評価委員会 (同規程を添付)</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) 開催実績 3回 (平成24年度実績。但し、群馬大学大学院工学研究科及び工学部評価委員会による)</p> <p>c 委員会の審議事項等 本研究院等における教育研究水準の向上及び活性化を図るため、教育研究活動等に関する点検・評価及び群馬大学の職員以外の者による評価・検証 (以下「大学評価」という。) を行い、もってその社会的責任を果たすことを目的とする。</p>

② 実施状況

a 実施内容

- ① 学生との懇談会（授業アンケートについての意見交換）
- ② 授業アンケート報告会
- ③ 工学研究科長等との懇談会
- ④ 意見交換会（専攻長とワーキンググループ代表者の意見交換）
- ⑤ 学生委員へのインタビュー
- ⑥ ベストティーチャー賞優秀賞受賞者による模擬授業
- ⑦ ポストドクター・インターンシップ講演会
- ⑧ FD講演会DVD版試写会
- ⑨ 大学生の発達障害に関する講習会

b 実施方法

- ・ 標記評価委員会等を中心に、アンケート、懇談会等を実施し、学生等の意見を聴取した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ① 6回（参加者 大学側：のべ16人、学生側：のべ49人）
- ② 4回（参加者 大学側：のべ77人、学生側：のべ107人）
- ③ 1回（参加者 大学側：2人、学生側：8人）
- ④ 1回（参加者 大学側：2人、学生側5人）
- ⑤ 1回（参加者 大学側：1人、学生側：4人）
- ⑥ 1回（参加者 96人）
- ⑦ 1回（参加者 96人）
- ⑧ 1回（参加者 5人）
- ⑨ 2回（参加者 101人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 各種アンケート及び懇談会結果を、授業改善の参考資料とした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期及び後期の学期末に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ アンケート結果は各学科、専攻内での「学生との懇談会」を中心に周知した。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成状況については、理工学部担当の教員が講義、演習、実験・実習を平成25年4月より実施している。当初設定のカリキュラムどおりに実現しており、設置の趣旨・目的の完全な実現に向けて、設置後1年目の状況は順調に進んでいるといえる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・評価報告書の作成若しくは大学ウェブサイトに公開する予定。

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 2013年 6月 1日 ）

群馬大学理工学研究院，大学院理工学府及び理工学部評価委員会規程

平成25年4月1日 制定

(設置)

第1条 国立大学法人群馬大学大学評価規則（以下「評価規則」という。）第7条の規定に基づき，群馬大学理工学研究院，大学院理工学府及び理工学部（以下「本研究院等」という。）に，群馬大学理工学研究院，大学院理工学府及び理工学部評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は，本研究院等における教育研究水準の向上及び活性化を図るため，教育研究活動等に関する点検・評価及び群馬大学の職員以外の者による評価・検証（以下「大学評価」という。）を行い，もってその社会的責任を果たすことを目的とする。

(組織)

第3条 委員会は，次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 研究院長
- (2) 評議員
- (3) 副研究院長，副学府長及び副学部長
- (4) 学部教務委員会，学府教務委員会，研究院人事・予算委員会及び将来構想検討会議の各委員長
- (5) 評価規則第5条第1項第6号の室員
- (6) 各部門（理工学基盤部門及び産学連携推進部門は除く。）から選出された正副委員各2人
- (7) 理工学基盤部門から選出された委員 各1人
- (8) 事務長
- (9) その他研究院長が必要と認めた者 若干人

(任期)

第4条 前条第9号の委員の任期は，1年とし，再任を妨げない。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き，委員長は第3条第1号の委員をもって充て，副委員長は同条第5号の委員をもって充てる。

2 委員長は，委員会を招集し，その議長となる。

3 副委員長は，委員長を補佐し，委員長に事故あるときは，副委員長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は，委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

2 議事は，出席委員の過半数をもって決し，可否同数のときは，議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは，委員以外の者を会議に出席させ，その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第8条 委員会に，大学評価に関する具体的事項を検討させるため，専門委員会を置くことができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は，庶務係において処理する。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は，研究院教授会の議を経て研究院長が行う。

附 則

1 この規程は，平成25年4月1日から施行する。

2 この規程の施行日以降，工学部及び工学研究科に在学する者が，当該学部及び当該研究科に在学しなくなるまでの間，当該学部及び当該研究科に係る委員会の業務を行うものとする。